

国・県補助事業の内示により大幅増額

加工施設の整備3704万円、道の駅等のWiFi整備3136万円などを計上

6月議会定例会は6月21日から24日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、国・県補助事業の内示に伴う補正予算や国民健康保険税の算定率を決める条例改正など18議案が提出され、すべて原案どおり承認、可決しました。

一般質問では7人の議員が登壇し、10項目にわたって町政をたどりました。



平成28年度
一般会計補正予算

平成28年度補正予算のうち、一般会計(第2号)は、1億6599万円を増額し、予算総額93億599万円とすることを全員賛成で可決しました。

おもな増額は、国・県の補助事業の内示によるもので、加工施設整備3704万円や道の駅や観月台文化センターなどのWiFi整備3136万円などです。その財源はおもに補助金や町債(借金)でまかないます。

質疑

WiFi設置3か所の経費の内訳は

問 (松浦和子議員)
観光・防災WiFi

イステーション整備事業(道の駅、観月台文化センター、役場庁舎)3136万円、3か所それぞれの整備費用はいくらか。

企画情報課長 災害時の情報

やすため、また、町や道の駅の情報を発信する機能を持たせるために整備する。3か所の内訳は、分けて積算をしているわけではなく、現在総額で積算している。

商工費で減額をするのはなぜか

問 (八島博正議員)
商工振興費の風評

対策事業で460万円減、まちづくり交流推進費のアドバイザー委託料で518万円減とあるが、当初予算から3か月経たないうちに減額となる理由は。

まちづくり交流課長 業は、当初予

算時点では国の補助の全貌が決まっておらず、27年度の補助を基に計上した。国の予算が固まった後、上限額が設定されたため、差額分を減額した。

アドバイザー委託料は、同時進行で計上していた地方創生の予算が認められ、今回のアドバイザー委託料を28年度で減額した。

平成28年度一般会計 補正予算(第2号)の主な内容

【主な事業】

・加工施設の整備	3704万円
・道の駅、観月台文化センター、役場庁舎のWi-Fi整備	3136万円
・返礼品・基金積立などふるさと納税事業に係る費用	3000万円
・東日本大震災復興交付金事業完了による残金の返還	1381万円
・貝田ほ場整備事業に係る費用	1880万円
・学習支援として小・中学校へタブレットの導入	842万円
・その他	2656万円
計	1億6599万円

【主な財源】

・国地方交付税	475万円
・国・県からの補助金・委託金	5648万円
・前年度からの繰越金	3658万円
・町債(Wi-Fiステーション整備のための借金)	1170万円
・その他(ふるさと納税による寄附、基金繰入など)	5648万円
計	1億6599万円



加工施設の完成が待ち遠しい(農業市のようす)

ふるさと振興基金の
総額は現在いくらか

問

(八島博正議員)

4月に専決した補正予算と今回の補正予算で、ふるさと振興基金の残高に動きがある。今回の補正でふるさと振興基金の総額はいくらになったのか。

総務課長

基金による財源調を整えながら予算を組んだ結果、今回の補正で残高は約7300万円の見込みである。

「くにみ農物語」は補正
予算に計上されているか

問

(八島博正議員)

「くにみ農物語」はいつ作ったものか。今回の補正予算にも費用計上はあるのか。

企画情報課長

平成27年度の地方創生上乗せ交付金を活用し作ったものである。

特殊技能を持つ職員は
何人くらいいるのか

問

(浅野富男議員)

災害対策費で手数料7万9千円が計上されており、特殊無線技士養成課程受講料との説明があったが、様々な特殊技能を持った職員は全体で何人くらいいるのか。

総務課長

特殊技能を持った職員は、各課それぞれ

学校管理費の送迎委託
業務増額の理由は

問

(八島博正議員)

れで把握している。特殊無線技士のほか、水道の管理など、必要部署で担当者が講習を受け資格を取得している状況である。

学校管理費の送迎委託業務33万1千円が計上されている。当初予算で出して、契約したら足りなくて計上したのか、別な理由があるのか伺う。

教育次長

当初に見込んでいた夏休みプールの送迎について不足したため補正をした。



トップセールスや連携自治体との交流などで国見町のPRに使用される